

2018年度社会福祉学科の主な取り組み

1. 学科研修旅行

【日 時】

2019年2月7日(木)～8日(金)

【テーマ】

都市地域からの／による排除と包摂の実態：大阪釜ヶ崎と被差別部落のフィールドワーク

【参加人数】

1年生19人、2年生17人、3年生7人、4年生2人、教員9人

【プログラム】

- ・ 1日目（2月7日・木）
9時頃名古屋出発
（午後）第1グループ：大阪・釜ヶ崎スタディツアー
第2グループ：リバティおおさか（部落問題スタディツアー）
（晩）自由行動
オプション視察（子ども関連団体）
宿泊先：A）ビジネスホテル（※釜ヶ崎の街づくりに関わるオーナー経営）
B）支援団体NPOのゲストハウス（※芸術・文化活動で文科省表彰）
- ・ 2日目（2月8日・金）
（午前）講演
上田假奈代さん（ゲストハウスとカフェと庭コロシアム代表）
前島麻美さん（社会福祉法人ストローム福祉会山王子どもセンター代表）
※昼食（ケータリング）・移動
（午後）第1グループ：リバティおおさか（部落問題スタディツアー）
第2グループ：大阪・釜ヶ崎スタディツアー
17時頃大阪発（名古屋20時頃到着予定）

2. ソーシャルワーク実習報告会及び懇談会

【日 時】

2019年1月30日

【参加者】

3年生：ソーシャルワーク実習およびソーシャルワーク実習指導Ⅱ履修者49名

2年生：ソーシャルワーク実習指導Ⅰ履修者48名
配属先実習指導者21名

実習指導教員7名

【内 容】

- ①報告会：実習指導グループ別グループ学習報告
7領域の実習指導グループ別に、配属先の概況説明および実習後のグループ学習による学びを、実習場面などを交えて報告。次年度実習予定の2年生への実習施設および実習内容の紹介と実習指導者への実習による学びのフィードバックを行った。
- ②懇談会：実習指導グループ別の分科会による実習生個人の学びの報告
実習指導グループ別に分科会を開催し、実習指導者との懇談を通じて、実習による学びを深めた。

3. 精神保健福祉士実習報告会

【日 時】

2018年12月5日

【参加者】

報告者（4年生4名）、精神保健福祉士に関心のある1～3年生27名（1年生2名、2年生16名、3年生9名）

【内 容】

実習場面を交えた報告と意見交換

- ①医療機関及び医療機関外における実習機関・施設での精神保健福祉士の業務内容の整理と比較、②医療機関において精神障害者の自己決定を尊重する退院支援の意義と方法、③地域で生活する精神障害者の生きづらさと生きる選択肢を提示する支援、④入院制度の問題による人権侵害の起こりやすさと精神保健福祉士に求められる価値・倫理について、詳細な事例を交えながら報告した。その後、出席した27名の後輩との意見交換が行われた。